

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (甲信越)		コンビニ（経営者）	・照りつけるような暑さがやってきて、コンビニの主力アイテムである清涼飲料水、ビール、アイスクリーム等が非常に売れているので、今よりは好調に推移する。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・新聞広告を出した日などは、特に来客が多かった。今月は葬儀がなくても、アポなしでいきなり訪ねてくる客が多い。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・これから夏に向かって、いろいろなイベントがあるので、エアコン、冷蔵庫等の動きに期待できる。
		百貨店（総務担当）	・2～3か月先は、前年に対するボーナス支給があるが、客との会話等では、若干だが予想以上に、上向いているとのことなので、これから多少良くなっていくのではないかと。
		スーパー（経営者）	・暑くなるので忙しくなる。4月は前年比売上93%、同来客数99%で、今月は25日までで、同売上115%、同来客数104%である。前年はイベントの売上が3月60万円、4月25万円、5月5万円、6月85万円あったが、今年はイベントの注文がほとんどないなかで、売上を伸ばしておりうれしい。
		スーパー（副店長）	・正社員の給料に変化はないが、各社共、パートの時給は引き上げてきている。
		都市型ホテル（支配人）	・ビジネス客に加えて建設、設備、メンテナンス関連の宿泊客が増えている。また、長期滞在予約も入り始めている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・非常に低調な月が続いているため、これ以上は悪くならないところまできている。来月の県知事選挙で新知事が決定し、そこから動きがはじめるのではないかと。
		都市型ホテル（スタッフ）	・4～5月の歓送迎会の宴会予約が40%ほど落ちたが、これは県知事選挙の影響かとみている。6月10日の県知事選挙後は落ち着き、また、人や企業が動き始める。
		遊園地（職員）	・今後も新規施設やイベント実施等により、多くの客の来園を引き続き期待する。
		商店街（代表者）	・古い商店街の当店のよう小さな店は、どうしても品ぞろえのある大型店に客が流れてしまう。学校指定品でなんとか食いつないでいるような現状のため、大型店に対抗することはできない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・天候に左右される季節商材がどのくらい動くかで、売上の増減に関わってくるが、消費者の購入意欲はなかなか見えない。長い夏を期待したい。
		百貨店（営業担当）	・販売量の動きや客の様子からは、特に、上向いていくような様子はみられない。相変わらず、慎重に買物をしているようである。
		スーパー（経営者）	・3月から、消費マインドの弱さを少し感じている。
		コンビニ（店長）	・周りの環境は余り変わらないので、現状から変わっていかない。
		家電量販店（店長）	・身近でも、景気回復の話は出てこない。
		乗用車販売店（経営者）	・モデルチェンジ等の大きなイベントはないが、前年に発売された先進技術搭載車の受注が堅調に推移するとみている。
		乗用車販売店（経営者）	・客の購買意欲をかき立てるような新型車の情報も少なく、特段、販売増は望めない。
		一般レストラン（経営者）	・期待できる要素がない。
		観光型ホテル（支配人）	・当地の同業者や他業種を含めて、どこも深刻な人手不足である。夏の繁忙期を控え、従業員の確保が急務である。
	観光型旅館（経営者）	・前年の夏は、デスティネーションキャンペーンがあったものの、集客に余り影響はなかったため、今夏はその反動による売上減も少なく、現状維持を予想している。	
	旅行代理店（副支店長）	・業務多忙な企業があり、旅行の時間が取れず、成約に至らなかったり、参加者減員となるケースが発生している。景気の良しあしと関係があるかどうかは不明だが、旅行離れを懸念している。	
	通信会社（経営者）	・物価上昇の影響もあって、客の節約志向が一層強くなり、多チャンネル、インターネットどころではなくなりつつある。	
	ゴルフ場（経営者）	・ゴルフが健康産業の一つ、というイメージを来場者に告知し、できる限りシニア層のゴルフ回数を増やせるように、また、プレー年齢を延ばせるようにしていきたい。	
	美容室（経営者）	・夏場に向かって気温も高くなっていくが、ガソリン等の値上げもあり、節約傾向が強い。現状では、売上等、来客数は余り期待できず、変わらない。	
	設計事務所（経営者）	・今後の計画物件依頼も多数受けており、仕事量は多くなっている。	

	住宅販売会社（従業員）	・別荘の見学客は増加しているものの、成約数には反映しておらず、横ばいである。	
	商店街（代表者）	・最近訪日外国人客が目立つようになってきたが、販売には結び付いていない。	
	百貨店（店長）	・もとより、地方で景気の良さなど実感できないが、最近の原油高、株価の停滞等、先行きに不透明感があり、百貨店の顧客には大きな影響がある。	
	スーパー（経営者）	・消費者の生活防衛意識が一段と増してきている。	
	コンビニ（エリア担当）	・来客数が3月より伸びていない。ゴールデンウィークが不発で、自動車税等の納付期限があったとしても、前月比の下がり具合が大きすぎる。	
	自動車備品販売店（経営者）	・来年の消費税増税や年金受給への不安に対する話題が増えてきている。金融機関のリストラ話も、不安をあおっている。	
	一般レストラン（経営者）	・県外客の動きも気になるが、地元の若年層、中高年、共に飲み客が減っている。	
	一般レストラン（経営者）	・飲食店での食事や宴会のオーダーの仕方が変化しており、無駄なものはほとんど頼まなくなっている。設定金額の上限が低くなってきており、同じ数が動いても売上は増えない。	
	スナック（経営者）	・すぐに上向いていきそうな気配はなく、街全体が静かである。6月にはサッカーワールドカップもあるが、日本代表の試合がある日は、客は早く家に帰ってしまう傾向があるので、不安しかない。	
	スナック（経営者）	・今後は、お盆休みなども入ってくる。営業日数が減ったり、行楽に出掛けてなかなか飲みに出る機会も少なくなり、団体客が動くような要素も余り考えられないので、売上は大分厳しいとみている。	
	タクシー運転手	・この半年くらいをみても、前年比100%を超えたことはない。今月も恐らく92%で終わる。また、運転手が高齢化してきているが、新人は入ってこない。将来が不安である。	
	×	衣料品専門店（経営者）	・冬物衣料の受注には早く、クールビズなどの影響もあり、商品が売れない。
	×	スナック（経営者）	・調査が始まってから、初めて、全ての項目で悪くなると回答している。他の店のことは分からないが、今後、良くなる要素が見当たらない。
企業動向関連	-	-	
(甲信越)	*	*	
	食料品製造業（営業統括）	・国産ワインの人気は依然としてあるものの、値上げの影響や商品のだぶつきにより、出荷量はやや落ちる。	
	食料品製造業（総務担当）	・今後の暑さで、夏枯れ状況が予想される。ただし、商品値上げ、バリエーションの増強、高額品投入等の施策でこ入れするので、変わらない。	
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・SNSを利用し、技術や受注のPRを試みている。反応は確かに多いので、今後も様子を見つつ活用してみようという動きがある。	
	一般機械器具製造業（経営者）	・国内受注は大きな変動はないものの、海外需要が不透明である。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・引き続き、仕事の確保はできそうである。	
	電気機械器具製造業（営業担当）	・生産量は上向くものの、原材料の高騰や他社との競合等により、内容的には厳しい状況が続く。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・夏場のシーズンに向かっており、高額品は売れず、低価格品でのしぐ状況である。	
	建設業（経営者）	・技術者不足が深刻で、工事は工期延長を頼むか、仕事を断っている状態である。	
	金融業（調査担当）	・引き続き、製造業を中心に設備投資の増加が見込まれ、景気は緩やかな回復が続くとみている。ただし、人手不足に伴う人件費上昇、原材料価格などのコスト増加が懸念される。	
	金融業（経営企画担当）	・外国からの需要に係る事業者は、今後も継続して良くなるが、内需関係の業種は利益率も少なく、やや悪くなる。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・小売店主の多くは、「景気が良いのか悪いのか判らない」としつつ、何人かは「人手が集まらない」と話している。ミニコミ誌の広告担当者も、企業への出稿依頼時「人手不足で、広告を出して仕事を頼まれても引き受けられないので、広告は出さない」と言われているそうである。	
	食料品製造業（製造担当）	・原油、原料等の高騰で状況は悪くなりつつある。商品の動きが鈍いと、利益を出すことが大変である。	
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月、利益が全く出ず、資金繰りが大変である。
雇用	-	-	

関連 (甲信越)	職業安定所（職員）	・建設業や運輸業からは人手不足、製造業では現状維持との話が聞かれるため、新規求人数は回復すると見込まれる。
	職業安定所（職員）	・3月末の有効求人倍率は1.63倍で、20か月連続で前年同月比から増加し、当所の統計史上、例を見ない高い水準を示している。景気が良いと答える企業も一部上がって来てはいるものの、業績に反映されないと答える企業も多く、雇用保険受給者は、微減に留まっていることから、好景気とまでは言えないと判断している。
	人材派遣会社（営業担当）	・消費意欲はなく、1円でも多く貯蓄をしたいという話をよく聞く。
	求人情報誌制作会社（経営者）	・今後も人手不足は続くため、企業は求人誌などに募集広告を掲載し、短時間勤務でも可能な、パート、アルバイトの募集に力を入れている。
	職業安定所（職員）	・新規求職の減少傾向は今後も続くだろうが、減少幅は小さい。一部業種で賃金上昇の動きも出ているものの、求人充足は低迷が続く。
		-
	x	-